

MYコミ協 やまがた

No. 15



発行日 平成 26 年 3 月 30 日
 発行 山潟地区コミュニティ協議会
 総務部会
 事務局 山潟会館内
 ☎ 025-286-0155
 FAX 025-286-0245
 新潟市補助事業

作成した取り組み案の内容については、紙面の都合上、詳細までご紹介できませんが、プロジェクト名を「やまがたお互いさまネットワークプロジェクト」とし、副題に「だれもが住み続

けたい元気で安心な山潟地区へ」を掲げています。取り組みとしては、お一人暮らし高齢の皆様、また、障害をお持ちの方などへの支援として、一時間程度でできる「ちよこつと仕事」——例えばごみ捨てや庭の草取り、電球交換、玄関の雪のけといったような仕事——のお手伝いを、「(仮称)やまがたお互いさま支援隊」という名称で、多くの皆様の参加を得て、また、山潟地区の中学校や専門学校、事業所にご参加いただきながら実施していくことを計画しています。

現在、ごみ捨て支援を先行実施すべく仕組みを検討しています。成案を得次第、皆様方にお知らせしていきたいと思っております。ご協力の程、よろしくお願いたします。



ワークショップ



グループ発表

同プロジェクトは、中央区が特色ある区づくり事業として取り組んでいる「超高齢地域支え合いモデル事業」の協働実施に選定されて発足しました。

「超高齢地域支え合いモデル事業プロジェクト」

プロジェクトチーム代表 水品 仁一

「超高齢地域支え合いモデル事業」の協働実施に選定されて発足しました。

まず初めに、ワークショップを行い、高齢化に伴う地域の課題として、ごみ出し、雪かき、草取りなど百五十三件の課題と、課題解決に連携できる百件の事業所や団体を洗い出しました。加えて、八十八件の既存の地域活動についても情報共有を図り、地域としてどのように支え合えるのか、意見交換を行っています。

作成した取り組み案の内容については、紙面の都合上、詳細までご紹介できませんが、プロジェクト名を「やまがたお互いさまネットワークプロジェクト」とし、副題に「だれもが住み続

けたい元気で安心な山潟地区へ」を掲げています。取り組みとしては、お一人暮らし高齢の皆様、また、障害をお持ちの方などへの支援として、一時間程度でできる「ちよこつと仕事」——例えばごみ捨てや庭の草取り、電球交換、玄関の雪のけといったような仕事——のお手伝いを、「(仮称)やまがたお互いさま支援隊」という名称で、多くの皆様の参加を得て、また、山潟地区の中学校や専門学校、事業所にご参加いただきながら実施していくことを計画しています。

現在、ごみ捨て支援を先行実施すべく仕組みを検討しています。成案を得次第、皆様方にお知らせしていきたいと思っております。ご協力の程、よろしくお願いたします。

鳥屋野潟の恵みを 考え食する会

恒例となりました山潟地区コミュニティ協議会、鳥屋野潟21世紀の会、鳥屋野潟漁協の共同企画による「鳥屋野潟の恵みを考え食する会」が二月一日(土) 山潟会館において行われました。今年には四十六名の参加がありました。



みごとな包丁さばき!

大きな鯉!



新潟日報の取材を受ける



刺身がおいしいです

規模が大きくなっています。昨年同様鳥屋野潟協の方により大きな鯉がさばかれていきました。テーブルに並べられた刺身や唐揚げを皆さん「おいしい」と大好評でした。

また新潟日報の方も取材に来ており、実施風景が日報にも掲載されました。

参加された皆さん、「きれいな鳥屋野潟」を満喫されていました。

鳥屋野物語 2012 「未来の鳥屋野潟絵画コンクール」 石碑除幕式

去る十二月十四日、弁天橋でとやの物語 2012 「未来の鳥屋野潟絵画コンクール」で市長賞(金賞)を受賞した山潟中学校の角木恵太さんの、絵画の石碑の序幕式が行われました。当日は、本人・ご家族・学校関係者や地域の方々が集まった中での除幕式でした。

すばらしい石碑ですので、散歩などで弁天橋を歩く際にはぜひ見て頂きたいと思えます。



防犯・交通事故防止講演会

交通対策部会長

金子 一夫

十月二十六日(土)、午後一時半から山潟会館大ホールで「防犯・交通事故防止講演会」が山潟コミ協の安心安全部会、交通対策部会の共同主催で開催されました。講演会は、コミ協の田中会長の挨拶で始まりまし

た。はじめに江南警察署管内における犯罪情勢と、交通事故防止に注意すべきこと、交通安全生活安全課長と交通課長の両氏の講演がありました。

防犯上注意すべき点については、空き巣狙い、学校周辺での児童への声かけ事案、振り込め詐欺等について、事例を挙げて



注意するよう話があり、次に交通事故被害については、交通事故発生状況の数字を上げて話があるようにとの話の中で、反射材の活用も大切であると指摘がありました。両課長の話は具体的でわかりやすい内容であり、参加者は納得した様子でした。

最後は、がらりと雰囲気が変わり、山高帽子に派手な衣装の「新潟弁で語る 漫談師中野小路たかまる」様による漫談が披露されました。日頃、警察官OBで、笑いを通じて、日常生活の中に潜む事件事故に対する啓発・啓蒙活動を行っています。参加者は腹を抱えて大笑いをしながら、大事なことはしっかりと心で受け止めている様子で、楽しい中にも有意義なひとときでした。



部会活動を振り返って

教育・育成部会長

浅井 広己

突然の部会長拝命に、びっくりしながらの一年でしたが、前部長の助言と協力そして部会メンバーの優秀さに支えられての活動でした。

不慣れな部会長職に戸惑って居るうちに、活動が秋からとなってしまう、後半に集中してしまったのが反省点でしたが、秋のオートナムコンサートでは、桜が丘小学校に、山二つの県立盲学校の生徒さんからお出で頂いてのピアノコンサートを中心にした演奏会を開催しましたが、もう少し同年代の小中学生に聴いて貰いたかったと思います。ハンディを乗り越えて



の活動には、勇気付けられました。もう一つは、冬のクリスマスマスコンサートを、山潟会館で開催。本格的な吹奏楽団シンフォニックアンサンブル・リルトの三十名を超えるメンバーが出演下さり、華やかなクリスマスソングを中心にして、東北震災の応援も込めての選曲に、皆さん大いに盛り上がりました。今までになく、子ども達や、赤ちゃんの姿も有りよかったです。

教育・育成などとおこがましい名前の部会ではありますが、これからも、子ども達から大人まで参加し易い企画を目指して行く積もりですので、ご協力宜しくお願いします。



平成二十五年度 防災研修会の実施

山潟コミュニティ協議会副会長

青柳 隼弘

今年、昭和三十九年六月十六日午後一時二分発災した、新潟地震から五十年目です。

日本は、ユーラシアプレート、北米プレート、太平洋プレート、フィリピンプレートに挟まれいつ地震が発生するか、予測できません。私たちは地震から逃れることはできませんが、減災に結び付ける行動はできます。それには瞬時の状況判断力と俊敏な行動力が必要です。

本年度は、東京消防庁「池袋防災館」において体験研修を受けることを計画し、会長以下二十六名が参加しました。平成二十五年十二月七日、みぞれ交じりの天候の中、



出発、十一時五十分には現地に到着しました。施設は池袋警察署と道路を挟んだ場所にあり「東京消防第五消防方面本部」と一緒に。入館は無料で、四階がメインフロアです。東日本大震災のDVDを観たあと、消火器の取り扱い訓練、地震の疑似体験、プロック塀の下敷きになった人の救出訓練等を実施しました。

これらの体験訓練は、発災の時役立ちます。当地区では平成二十六年度も地震を想定した訓練を予定しておりますので、特に児童のおられるご家庭では、一人でも多くの皆さんが参加されることを望んでいます。

第一回似顔絵教室開催

まちづくり部会長

富樫 純一

以前に観た海外旅行の番組で日本人旅行者が訪れる先々で現地の人の似顔絵を描いて好評を博し人気者になる、と云う番組があった。その事が頭の片隅にあったので今回の教室でした。二月十五日、山潟会館にて第一回似顔絵教室を開催。参加者はご夫婦や親子連れなど二十名以上、申し込み時に「絵は何十年も描いてい



ないけど大丈夫でしょうか？」と聞かれたが大丈夫！参加者は手にした家族写真や友人の写真片手に悪戦苦闘、あちこちから「似てる！」「上手だね」と云う声が漏れ和気藹々の似顔絵教室でした。今後の高齢化社会に備え、何もする事が無い年寄りにならない為にも鉛筆と紙さえあれば楽しめる似顔絵教室、参加者の腕が上達し、家族や近所で人気者になるまで継続して行きたいと思



います。ある日、貴方の似顔絵が届いたらそれはこの教室の参加者です。